

令和4年11月1日

令和4年 秋の火災予防広報紙

まとい



第230号

編集 桑名市消防本部予防課
発行 桑名防火協会
桑名危険物安全協会
桑名市大字江場7番地
☎(FAX) 0594-24-0135

URL <http://www.kuwabou.info>

桑名防火協会は創立70周年を迎えました



佐藤強桑名防火協会長の式辞

創立70周年記念式典を開催!!

令和4年5月18日(水)に桑名防火協会創立70周年記念式典を開催いたしました。当日は好天に恵まれ、桑名市長、桑名市議会議員長様をはじめ多数のご来賓の皆様と、会員事業所の皆様、消防団員表彰者の皆様、総勢74名にご出席いただき、盛大に開催することができました。

記念式典冒頭では、佐藤会長が、「災害が頻発し多様化する現在において、災害による被害を最小限にとどめるためには、地域住民一人ひとりへの防災思想の普及活動、地域防災力の向上を目指した普及啓発活動

の支援を一層注力し、強固な防災体制の構築にまい進してゆきたい。」と式辞を述べられました。



創立70周年記念式典開催の様子 (桑名市消防本部 2階研修室にて)

秋の火災予防運動がはじまります

11月9日(水)~11月15日(火)

この運動は、空気が乾燥し火災の発生しやすい時季を迎えるにあたり、火災予防思想の一層の普及啓発を図り、火災発生を防止することを目的として、全国的に展開されます。桑名防火協会では、広報事業を通じて、幅広く火災予防運動を実施します。

2022年度全国統一防火標語

お出かけは マスク戸締り 火の用心



防火ポスター入選作品決定

桑名市消防本部では、毎年火災予防啓発事業の一環として、管内小・中学校の児童、生徒を対象に防火ポスターを募集しています。今年度は、58校2396名の皆さんから、令和4年度全国統一防火標語「お出かけは マスク戸締り 火の用心」をテーマに応募頂きました。コロナ禍で外出する際、最低限の予防策のマスク着用と、基本の戸締り、火災予防を訴える優秀作品が集まりました。

審査会は令和4年9月27日(火)桑名市消防本部で行われ86点が入選し、次の皆さんが特別賞に選ばれました。また、最優秀には、多度東小学校5年江上平二郎さんの作品が選ばれ、街頭啓発用防火ポスターとして管内各所の掲示板や事業所等に掲示し、火災予防啓発に活用させていただきます。

最優秀作品 桑名市長賞
多度東小学校5年
江上 平二郎さん



市長賞・町長賞の作品



桑名市長賞
多度中学校3年
水野 陽菜さん



いなべ市長賞
員弁東小学校5年
多湖 優莉さん



いなべ市長賞
北勢中学校2年
江崎 歩果さん



木曾岬町長賞
木曾岬小学校6年
生川 結梨さん

◆審査会の様子◆



木曾岬町長賞
木曾岬中学校3年
伊藤 進護さん



東員町長賞
城山小学校6年
森 菜々美さん



東員町長賞
東員第一中学校2年
水谷 寧々さん

桑名防火協会長賞

【小学校の部】

大和小学校5年	矢野 巴菜さん
治田小学校5年	米倉 拓真さん
木曾岬小学校6年	上原 琴茜さん
笹尾西小学校6年	宮前 翔さん
【中学校の部】	
正和中学校2年	増田 莉乃さん
北勢中学校2年	米倉 珠希さん
木曾岬中学校3年	水谷 玲さん
東員第二中学校1年	松田 優実さん

消防長賞

【小学校の部】

精義小学校5年	稲垣成維子さん
十社小学校5年	渡部 心咲さん
木曾岬小学校6年	布目 桜子さん
笹尾東小学校6年	朝日 結咲さん
【中学校の部】	
光陵中学校2年	鬼頭 凜さん
藤原中学校1年	松下玉磨輝さん
木曾岬中学校3年	山脇 梨愛さん
東員第二中学校1年	水越 陽菜さん

★令和5年防火カレンダー★

特別賞の24点を掲載した、令和5年防火カレンダーを作成しました。ご希望の方は消防本部予防課(24)5279まで。

★防火ポスター展

入選作品86点は、秋の火災予防運動啓発活動として次の日程で「防火ポスター展」を開催します。

11月7日～15日イオンモール東員
11月17日～30日イオンモール桑名

●防火ポスター・防火カレンダー作成協力
桑名防火協会・桑名危険物安全協会

70th Anniversary ceremony

これから安全で安心して
暮らせる地域社会を



優良防火事業所表彰・協会功労者表彰授与式

特別表彰は、会員事業所の中から、防火対象物の火災予防を推進し、また防火協会の事業運営にご尽力された各事業所に、優良防火事業所表彰、協会功労者表彰を行い、賞状と記念品を授与しその栄誉を称えさせていただきました。

創立70周年記念特別表彰

桑名防火協会は、昭和27年3月に市民への防火思想の普及啓発、及び消防法に定める防火対象物の火災予防の推進を主な目的として、桑名市内41事業所の賛同を得、「桑名市防火協力会」の名称のもとに設立されました。

その後順次、桑名郡、員弁郡の消防事務委託に伴い、当協会もまた発展・充実することが出来、ここに70周年の記念すべき年を迎えることが出来ました。

桑名防火協会の変遷

受賞された事業所様

協会功労者

(株)アイ・テック
(株)青山製作所
(株)イシザキ
エバ工業(株)
川瀬産業(株)
桑名運送倉庫(株)
(株)太暢金属
(株)デンソー大安製作所
トヨタ車体(株)いなべ工場
日本ホーク(株)
扶桑工機(株)
三重交通(株)桑名営業所

(五十音順)

優良防火事業所

(医)青木会 青木記念病院
社会福祉法人憩 特別養護老人ホームいこい
(株)きもと三重工場
昭和印刷(株)
伸和精工(株)三重工場
(医)橘会 多度あやめ病院
中部電力パワーグリッド(株)桑名営業所
特別養護老人ホーム 長寿苑
(医)康誠会 東員病院
東海コンクリート工業(株)
ニッタ・デュポン(株)三重工場
(有)ビジネスホテルビーエル
(医)北勢会 北勢病院
(有)ユウアンドユー六石高原ホテル

(五十音順)



消防団員功労者表彰

例年、定期総会で行っております桑名防火協会会長表彰は、消防団員功労者表彰と名称を新たに、今年度は記念式典で行いました。永年消防団員として使命達成に尽くされ、地域の安全安心に貢献された元消防団員20名の方々（令和3年度中退団）を表彰させていただきました。



永年地域の安全安心に貢献された元消防団員の皆様

火災予防啓発車両寄贈

今回、桑名防火協会創立70周年記念事業として、桑名防火協会から桑名市消防本部へ火災予防啓発車両を寄贈いたしました。



寄贈した車両は環境に優しい次世代自動車で、地域防火思想の普及、啓発、防災体制の充実強化を目的として、街頭啓発活動や防火ポスター展、火災予防広報など幅広く活用していただきます。

火災予防啓発車両寄贈セレモニーでは、桑名防火協会長から桑名市長へ目録の贈呈、レプリカキーの贈呈に続いて、桑名市長から感謝状の贈呈で進められました。



佐藤強桑名防火協会長(右)から伊藤徳宇桑名市長へレプリカキーの贈呈

来賓祝辞

セレモニーに続いて、ご来賓を代表して、桑名市長・桑名市議会議長のお二人にご祝辞をいただき、記念式典は盛況のうちに終了いたしました。



伊藤徳宇桑名市長の祝辞



辻内裕也桑名市議会議長の祝辞

式典終了後に、消防本部庁舎前で集合写真を撮りました。



左から上田泰爾副会長、川辺孝治副会長、渡邊健一副会長、伊藤徳宇桑名市長、佐藤強会長、谷尾雅之副会長、服部岳副会長、杉山伸司消防長



防火協会会員事業所紹介

(株)ADEKA 三重工場

三重工場長 渡邊 健一



弊社株式会社ADEKA三重工場は1965年に稼働開始した、化学生産工場です。創業時のアデカカーガスから旭電化

工業、そして現在のADEKAへ社名も変更して、他工場で生産している食品（業務用のマーガリンやホイップクリームなど）のイメージ向上に繋がっています。三重工場では、皆さまが目にしたり手にしたりしているプラスチックに含まれる安定剤・添加剤等を主に生産販売しております。この安定剤・添加剤によりプラスチックも丈夫で色々な形に成型出来ると共に、熱や紫外線で劣化しない役割を担っております。代表的な物は車のダッシュボードで、弊社製品を少量含む事で真夏の酷暑でも変形しないよう工夫されています。



当社では、このような化学原料から化学製品を生産しているため、消防法の危険物に該当する取扱量はこの地域では最大

です。勿論、その危険物からの発火・火災を防止する設備面、作業面からの対策はしておりますが、大規模地震を想定した人命救助と火災発生を極力抑える訓練を年2回行うことで、周辺住民の皆様安心して生活していただくことが、使命と位置付けております。

先般6月1日には、消防本部予防課・東員消防署・大山田分署・指揮調査課の



令和4年6月1日の合同消防訓練 職員の方々と合同訓練を行いました。今後も火災・事故発生防止対策に重点を置いて生産活動すると共に、消防本部との合同訓練を通して、有事の際の迅速かつ正確な活動を心掛けて参ります。

(株)デンソー大安製作所

大安製作所長 滝 文隆



当製作所は、1982年4月に三重県唯一の弊社生産拠点として操業を開始し、今年40周年を迎えることができました。

これもひとえに地域の皆様のご理解・ご協力の賜物と深く感謝いたします。さて、今日の自動車業界は「電動化」

「自動運転」「先進安全」などに象徴される、大きな変革期を迎えております。

当社も、近い将来にやってくるモビリティ社会の新たなニーズに応える製品開発や、事業展開を積極的に行っています。当製作所では、祖業である自動車の点火系・吸気排気系、駆動・動弁系の製品に加え、先進安全系製品を製造しています。大きな変革の波を乗り越え、これからも引き続き地域や社会に貢献し続けてまいります。

桑名防火協会には1991年に入会し、防火対策・訓練などに関して様々な指導・ご協力を頂いてまいりました。当社では、毎年9月が防災月間になっており、全社で自衛の防災訓練、避難・救護訓練をはじめ、従業員一人ひとりの防災意識向上に努めております。



大安製作所 自衛消防隊

当製作所では、9月8日に今年初めて桑名市消防本部様に「企業防火講習会」を実施していただきました。この日は「デンソーグループ安全の日」にあたり、開催した会場に20名、リモート講習で現場責任者120名を超える聴講があり、多くの従業員に対してさらなる防火・防災意識の向上を図ることができました。

これからも、地域の一員として社員一同、企業の責任を果たしてまいります。

〈企業防火講習会の様子〉
会場の他に各部署においてもリモートで聴講しました。



企業防火講習会のご案内

桑名市消防本部では、各事業所の防火・防災対策の推進を図ることを目的に、「企業防火講習会」を実施しています。

各事業所のご要望に応じた防火講和・講習会を開催し、従業員の方々の防火意識の高揚を図り、職場における火災等による被害の軽減に努めていただきたいと思います。

各事業所の規模に関わらず、当消防本部職員が出向いて講習会を実施いたしますので、多数のご応募をお待ちしております。

- ① 桑名市消防本部管内の事業所
- ② 講習内容・実施時間・参加人数等は、ご要望に応じて実施
- ③ 申込先

桑名市消防本部予防課

☎0594-24-5279

までお電話でお申し込みください。

消防通信

携行缶へ注油中に突然引火!!

ことし4月、伊賀市のセルフ式ガソリンスタンドで、79歳の男性がガソリン携行缶に注油している最中に、突然火の手が上がりました。幸いにも、消火器で消し止められましたが、対応が遅れたら大惨事になるところでした。

消防によると原因は、「静電気によるもの」だそうです。そもそも、セルフ式のガソリンスタンドでは、お客さんが自ら「携行缶へ注入する行為」は、法令により禁止されています。また、自分が危険物取扱者の資格を持っていたとしても従業員でなければ携行缶への注油はできません。



携行缶にガソリンを注入する場合には、「地面に置いた状態」で注油するのが望

ましいとされています。直接、地面に置くことで静電気が流れてくれるからです。ガソリンは、気温がマイナス40度でも気化し、常温でも常に可燃性のガスを発生させており、「静電気等」で引火することもあるので、十分な注意が必要です。

天ぷら油火災に注意を!!

天ぷら油火災の多くは、天ぷらや揚げ物をしている時に、来客や電話等でその場を離れた時など、ちょっとした油断が原因で発生しています。天ぷら油は、その温度が約360℃から380℃以上になれば、火種がなくても発火して燃焼をはじめます。家庭で使用する油量程度の天ぷら油を家庭用ガスコンロで加熱すると、約5分で約180℃に達し、そのまま放置すると約10分で白煙が立ち始め、約20〜30分で発火します。また、一度使用した油、揚げかす等がある場合には、加熱してから短時間で発火することがありますので注意が必要です。

令和4年8月10日に北九州市の旦過市場で3324㎡を焼損する火災が発生



しました。

火元関係者によると、使用済みの天ぷら油に凝固剤を入れ、加熱したまま放置していたら炎が上がり燃え広がった、ということです。

天ぷら油は調理中だけでなく、使用後の処理でも注意が必要です。油の凝固剤は、温度が低いと溶けません。冷めた天ぷら油に、凝固剤を溶かすために再加熱していて、それを忘れ火災になってしまった事例も増えています。また、天ぷら油が熱いうちに油吸着材で処理しごみ袋に捨てる、自然発火してごみ袋が燃えて火災が発生するおそれがあります。必ず油処理剤に記載されている使用方法・使用上の注意を読んでから使用するようにしてください。

火災における一酸化炭素の危険性

ご存じですか? 火災による死因の約4割が一酸化炭素(CO)中毒です。大阪市北新地の雑居ビル放火事件では、死亡した25名の方々はCO中毒で亡くなっています。2001年に東京都新宿歌舞伎町の雑居ビルで44名の方々が死亡した火災でも、約9割はCO中毒でした。では、なぜCO中毒での死者数がこんなに多いのでしょうか?

① COは非常に毒性が強く、空気中の濃度わずか1%のCOを吸引しただけで、1〜2分で死にいたります。

② COは無色・無臭で人の五感では気が付きません。

③ CO中毒になると、意識はあっても身体が動かなくなり、逃げ遅れてしまいます。

COは別名「サイレントキラー」とも呼ばれ、火災の際にこっそり忍び寄り、多くの命を奪っています。

火災発生時に避難する際には、煙は一瞬间で上方に広がるため姿勢を低くし、浅めの呼吸をしながらタオルや服などを口と鼻に当てて移動してください。煙で周囲が見通せない場合、床や壁に手を当てて四つん這いになり、這うように移動して一時的な避難場所を見つけてください。また、部屋の床や角、階段の踏面の隅には空気が残っている可能性があります。



窓があれば顔を出して外気を吸う、窓から大量の煙が噴き出している時は、「くの字」になり呼吸する。

また、2階ならば、ばら下がって地面に降りる最終手段も考えます。



東京新聞TOKYOWebより